



ひいらぎ

垂水市立柘原小学校 学校だより

校訓
キャッチフレーズ

自ら学ぶ子 やさしい子 元気な子
笑顔があふれ 会話を弾む学校

令和6年1月発行

「画竜点睛」を施す！！

校長 竹井 敏秀

2024年が幕を開け、10日余りが過ぎました。元日に発生した能登地震で犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興を切に願っています。

さて、今年は辰年です。干支の由来の一つに、「十二支を決めるために動物たちに招集がかけられ、到着した順で十二支が決まった」という物語の本があります。また、その他にも干支のルーツには、「中国天文学で空を十二等分した名称として使われるようになり、その後広く暦を表す記号として使われるようになった」という説もあります。でも、辰というのは架空の動物です。ほかの干支は実在する動物なのに、どうして辰が入ったのでしょうか。中国がルーツといわれる十二支ですが、辰（龍）は古来より縁起のいい生き物とされているのできっと縁起がいい辰を干支に選んだのかもしれない。2024年の干支は「甲辰」で『春の日差しが、あまねく成長を助く年』になるそうです。春の暖かい日差しが大地のすべてのものに平等に降り注ぎ、成長と変化を誘う年。今までの努力が実を結ぶ年にもなりそうなので、『画竜点睛』を施し、令和5年度の締めくくりをきちんとしていきたいものです。



ちなみに「画竜点睛」とは、中国の南朝梁の時代にまで遡る話です。張僧ヨウという絵師が金陵の安楽寺の壁に四匹の竜の絵を描き、その竜は今にも天に昇っていきそうな勢いで、見た人々は息を飲んだが、なぜか竜の瞳が描かれていませんでした。なぜ瞳を描かないのかと絵師に尋ねると「瞳を入れると飛び去るからだ」と説明しますが、人々はそれを信じようとしませんでした。そこで仕方なく竜の瞳を描き入れてみせると、竜は雲に乗ってたちまち天に昇っていったという話から、「物事を完成させるために、最後に加える大切な仕上げのたとえ」として用いられます。

結びに、新年早々児童の登校の見守りと声かけに御協力いただき、誠にありがとうございました。保護者・地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

入賞おめでとうございました！

◇ 若草文学賞

最優秀賞 1年 山田 笑奈

「くじらぐもにのっていききたい」

12月23日に文化会館で表彰式がありました。

夏休みから子ども達は絵や作文など様々なコンクールに挑戦し、入賞した児童は学校で表彰しこの場で紹介してきました。作品には子ども達のがんばりと保護者のみなさまのご支援・ご協力・ご苦労もあったことと思います。この場をお借りしてお礼を申し上げます。今後もまだコンクールはありますので引き続きご協力をお願いいたします。

始業式

1月11日（火）3学期始業式が行われました。1年生の山田笑奈さんが児童代表あいさつで冬休みに楽しかったことと3学期に頑張りたいことを元気よく発表してくれました。そのあと校長先生から能登地震があったことを受け、「命の大切さ」の話と1年間の目標についての話がありました。子ども達はそれぞれどんな目標を持ったのでしょうか。目標に向かって頑張りたいと思います。



【児童代表あいさつ】

浜駅伝開催

1月2日は2年ぶりに浜駅伝が行われました。絶好のマラソン日和で参加者みんな気持ちよく走ることができました。結果は1～3位まで子ども達チームが独占。年始めから良いことでスタートしました。この大会も48回を数えます。半世紀にわたって続けられてきた浜駅伝。また伝統の1ページに新たな歴史が記されました。参加していただいた皆様、応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。



【3チーム一緒にゴール】

門松作りご協力ありがとうございました

12月10日（日）はPTAの門松づくりがありました。たくさんの皆様のご協力がありました。ありがとうございました。年末から年始にかけて賑やかな正門になりました。（始業式の日子ども達と撤去しました。）ご参加下さった皆様ありがとうございました。



【竹の切断作業】

2月・3月の主な行事

月	日	曜日	行事等
2	6	火	新1年生入学説明会・体験入学
2	15	木	授業参観、学校保健委員会、学級PTA
3	1	金	6年生を送る会
	7	木	PTA理事・評議委員会
	22	金	第126回卒業証書授与式
	25	月	修了式、離任式
	26	火	PTA送別会